

The Atlee Sons

Leading the Way in Type

アトリー息牛：体型を先導 <前編>

Holstein Journal 2013年8月

著：Bonnie Cooper

カナダに母系のルーツを持つ米国の牛、MD ディライト ダーハム アトリー ET (EX92-USA-DOM-GMD-6*) は数年前、人気で人々から高く評価され、深いペディグリーを持ったショウカウだった。今日アトリーの星は、尊敬される“種雄牛の母”として、そしてホルスタイン品種で知られる最高の体型伝達牛の一頭としてさらに明るく輝いている。なぜだろうか？それは彼女の“ゴールドウィン”と“ショトル”との賢明な交配による。これら交配は、北米やその他地域の体型ランキングを独占するだけでなく、世界中の体型通の強い興味を捕らえる“アットウッド”、“アフターショック”、“アメイジング”等の種雄牛の生産を可能にしたからである。

アトリーのペディグリーを見ると、なぜこの牛が体型伝達牛になる運命にあったかがわかる。彼女の父はレーガークレスト エルトン ダーハム ET (EX90-USA-GM) で、ウィスコンシン州マディソンで開催のワールド デイリー エキスポにおいて五年連続プレミア サイアーを獲得した体型のスペシャリストである。彼女の母はオールアメリカンに二度ノミネートされた“スカイチーフ”娘牛、ミス キングステッド チーフ アディーン ET (EX94-3E-USA-DOM-3*) の“ストーム”娘牛 (VG88-USA-DOM) である。アトリーの曾祖母エイトケンブレースターバック エイダ (EX94-2E-USA-DOM-4*) は“スターバック”による娘牛で、オンタリオ州ホルスタイン所在のエイトケンブレーフาร์มズによって生産された。エイダは二歳の時に米国に売られ、その地で彼女は1989年にシニア二歳のオナラブル メンション オールアメリカンになり、1990年には彼女の米国オーナーのためシニア三歳のオールアメリカンを獲得した。その後エイダは、オンタリオ州セントトーマスにあるショアマーホルスタインズのハーディー ショアー ジュニアによるオーナーシップのもと数年間カナダに帰国し、多く採卵に掛けられた。アディーンに加え、ショアーはアディーンフルシスターであるショアマー S アリシア (EX97-3E-USA-7*) のブリーダーでもある。アリシアは2000年のロイヤル ウィンター フェアでシュープリーム チャンピオンを獲得した三度のオールカナディアン、そして二度のオールアメリカンである。アディーンとアリシアは2000年のオールアメリカン プロデュース オブ ダムであった。この素晴らしいブリーディングファミリーの数々のメンバーもまた、北米のショウにおいて賞を獲得している。

アトリーは未経産牛として、メリーランド州ウエストミンスターのマイク ヒース、コネチカット州カナーンのシャノン オーリン、そしてニューヨーク州ミドルバーグのジェイソン ロイドによって購入された。2005年、アトリーはショウリングで注目を集め、ワールド デイリー エキスポのシニア三歳トップ及びリザーブ インター ミディエイトになり、その年に満場一致のオールアメリカンになった。彼女はその泌乳期において365日換算で乳量17,368kg、脂肪5.5% 948kg、蛋白3.3% 567kgを生産した。アトリーは2008年に癌が理由で安楽死させられねば

ならず、彼女のキャリアは残念ながら急な終わりを迎えた。

2005年、オンタリオ州オズグッド所在のベルサーズ ファームズ Ltd.のスティーブとポール ベルサーズは、人工授精所向けの種雄牛を生産する能力を持つ最高級遺伝子のホルスタインから受精卵を購入することを試みていた。その秋のワールド デイリー エキスポにおいて、彼らは一人の友人によってアトリーへと導かれた。それは彼女がショウリングに向かう日の朝の事だった。このベルサーズ兄弟はここからの話をこう話す。「彼女がクラストップになった直後、チャンピオンシップの前にスティーブはアトリーが繋がれる牛舎に戻り、彼女の最初の採卵からの20卵を予約し、価格にも同意した。我々の採卵用種雄牛の第一希望は“ゴールドウィン”だったが、アトリーはその時分娩を終えたばかりで、シーメックスがセール オブ スターズでオークションにかけるために確保していた五卵の“ゴールドウィン”受精卵はまだ採卵されていなかった。また、シーメックスは授精所用に息牛の契約もしていた。この“ゴールドウィン”とアトリーの交配を独占する為には、経費がいくらであろうとこれらの受精卵も購入する必要があると我々は決断した。最終的に我々はこのオークションで購入した受精卵に一卵あたり 3,600 ドルを支払った。」



**MD ディライト ダーハム アトリーET
(EX92-USA-DOM-GMD-6*)**

2005年シニア三歳オールアメリカン

カナダに母系のルーツを持つこのダーハム娘牛は、
“ゴールドウィン”と“ショトル”による優れた息牛を生んだ結果、
品種上最高に尊敬される体型伝達牛の一頭になった

アトリーに、過去数年においてプレミア ショウ サイアーになった“ゴールドウィン”を交配する事は、賢明であったことがその後判明する。アトリーの“ゴールドウィン”での最初の採卵が未受精卵のみに終わった一方、二度目の採卵は38卵の移植可能な受精卵を生産した。ベルサーズ兄弟は何とか11卵をカナダに送る手配を取った。彼らは八卵受胎させ、結果として五頭の雄牛と三頭の雌牛が彼らのオンタリオ州東部の牛舎で生まれた。この五頭の種雄牛がメープル ダウンズ I G W アットウッド (EX90-USA-ST)、オーリンデール I アティック (GP-ST)、オーリンデール I アティカス (GP-ST)、メープル ダウンズ I G W アトランティック (VG-USA)、オーリンデール I G W アーデン (VG-USA-ST) である。

幅広く普及したジェノミックテストは未だ行われていなかったため、シーメックスはこれら種雄牛が一歳になるまで待ってから“アティック”と“アティカス”を選択した。その後セレクト サイアーズは“アーデン”と“アト

ランティック”を彼らのヤングサイアー プログラム用に選択した。残った兄弟種雄牛“アットウッド”はさほどスタイリッシュではなく、種雄牛として誰も欲しがらなかった。

数か月が過ぎるにつれ、“アットウッド”は成長し改善し続けた。スティーブとポール ベルサーズは彼の個人的な検定成績の獲得に挑戦することを決めた。カンザス出身のセールスマネージャー、エド フェラーズは、彼が米国で広範囲に渡る成績を得られる様、この種雄牛のシンジケートを組む手伝いを申し出た。グラズ ウェイ エンタープライジズのウェイン グレーザーがこのシンジケートに加わり、カリフォルニア州の彼が担当する大規模牛群サービス地域で“アットウッド”を検定にかけることに同意した。「これは数々の努力が非常にうまく一つにまとまった結果である」とスティーブ ベルサーズは言う。「エドと私がたまたま電話でアトリーについて話したことから始まり、そしてエドがウェインに電話した。我々は“アットウッド”を管理し、カナダにある地元の人工授精所で彼を採精し、初期の精液をカナダ及び米国に送る責任を負った。一方でウェインはカリフォルニアを世話し、エドはシンジケート内のシェアを販売し、“アットウッド”を宣伝した。」

グレーザーは、彼の種雄牛をジェノミク テストにかけることに関してセレクト サイアーズと契約を交わしていた。“アットウッド”はテストされる種雄牛の一頭であった。そのジェノミックの結果が戻ってきた時、“アットウッド”は体型においてホルスタインのトップ ヤング種雄牛であることが明らかにになった。このニュースを基に、ベルサーズ、フェラーズ、そしてグレーザーは“アットウッド”をリリースすることについてセレクト サイアーズと素早く契約をまとめることに成功した。スティーブ ベルサーズが述べるように、「もしシーメックスのジュリアン シャボアと一人の友人が、ちょうどショウリングに向かい、彼女の人生で最高の日を迎えていた素晴らしい若牛を指し示すことが無ければ、そしてジュリアン自身が彼女の種雄牛を欲しがり、遅めの“ゴールドウィン” 息牛の為の交配を考えていなければ、“アットウッド”は存在しなかったと言って間違いないと思う。これは友情、素晴らしい牛、決断力、そして種雄牛の物語である。」

ベルサーズ ファームズで誕生したアトリーの五頭の“ゴールドウィン” 息牛に加え、その他の“ゴールドウィン” と“ショトル” 息牛も人工授精所のプログラムに参入した。ここカナダでは、アトリー息牛の第一号が“アティカス”で、2012年4月に成績を持って現れ、その後“アティック”が2012年8月にそれに続いた。2012年12月、更に四頭のアトリーの新規種雄牛がカナダの体型リストの上位を占めてデビューした時、それは大きなニュースになった。第一位はアトリーの“ショトル” 息牛でセント ジェイコブズ ABC 所有のMS アトリーズ Sht アフターショック ET (VG-USA-ST) で、“アットウッド”が第二位でそれに続いた。2013年4月成績公表においてこの順位は入れ替わり、“アットウッド”が第一位に、“アフターショック”が第二位になった。今日、カナダにおけるアトリーの検定済み種雄牛六頭は、全頭スーパーリアー タイプの称号を得ている。その内“アットウッド”、“アフターショック”、“アーデン”、“アティカス”、Mr アトリーズ アルタアメイジング ET の 五頭が現在体型トップ 10 内にランクしている。米国では“アットウッド”が2012年8月より体型 (PTAT) のナンバーワン種雄牛になっており、一方アルタ ジェネティクス彼のフル兄弟“アメイジング”は2012年4月に体型第一位であった。米国にはもう二頭成績を持った“ゴールドウィン” 息牛が存在する。“アトランティック”と Mr アトリーズ GW アバランチ ET (EX90-USA) である。更にアトリーにはヨーロッパに二頭の“ゴールドウィン” 息牛がいる。スペインで体型を率いるリッジフィールド デリートと、イタリアのナンバーワン体型種雄牛ヘブンリー ゴールデン ドリームズである。(続く)